

令和3年12月

博物館実習ご担当者様

公益財団法人古川知足会 古川美術館
2022年度博物館実習受け入れについて

拝啓 時下、皆様におかれましては益々ご清祥のことと存じます。
さて、古川美術館では、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、2022年度博物館実習を下記のように実施致しますのでご連絡いたします。

実習にあたり、下記の文化庁からの留意事項を順守できる方に限り、受け入れを行います。但し、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、やむなく実習を中止、又は延期を含む変更などの処置をとることもあります。また、実習の2週間前から実習の期間中、実習学生、又は古川美術館職員に下記留意事項に関わる体調面を含めた問題が起こり、やむなく実習を行うことが困難となった場合、学生在学の大学において博物館実習の補填をお願いいたします。古川美術館での実習の補填は行いません。

何卒、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

敬具

【実習にあたる注意点】

令和3年4月12日付にて、文化庁企画調整課博物館振興室より、「令和3年度における学芸員養成課程に係る博物館実習の実施についての留意事項」が届きましたので、学生の皆様には、その旨ご留意ください。以下、一部抜粋をしますので、順守をお願いします。

学生への事前指導

実習の2週間程度前から、毎朝の検温及び風邪症状の確認を行うことや、感染リスクの高い場所に行く機会を減らすなどの対策を学生に徹底していただくこと。実習中は、これに加えて、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底し、マスクは常時装着することなど一層の感染症対策を行うことを学生に徹底すること。

実習に参加予定の学生の家族等の感染が確認されるなど学生が濃厚接触者に特定された場合、感染者と最後に濃厚接触した日から起算して2週間は実習への参加を見送るよう指導すること。

実習中は受入先である博物館の指示に従うことや、発熱等の風邪症状やその他体調不良がみられる場合には、博物館と相談の上、自宅で休養することを学生に徹底すること。

実習後の留意事項

実習中の状況により、十分に実施できなかった内容があった場合には、大学は事後指導等において、補足的な内容の授業等を行うこと。

文化庁からの留意事項に加え、古川美術館にて実習を行う場合、博物館実習の2週間前より海外への渡航はお控えください。また、実習前の1カ月以内に海外渡航をした場合は、必ず古川美術館に申し出をしてください。

記

申込期限：2022年3月15日(火) (必着)

受入れ決定：受け入れの可否は、2022年3月末までに大学へ通知します。

実習期日：2022年8月下旬～9月上旬（事前来館による課題作成実習1日を含み5日間）
8月23日（火）、24日（水）、25日（木）、26日（金）及び8月30日（火）、31日（水）を予定し、人数によって振り分けを行います。
ただし、日程は事業内容の変更に伴い、変動する可能性があります。
特別な事情でない限り、全日程の出席を条件といたします。

実習条件：①実習中の数日間、実習生自身のノートパソコンを持参して、資料作成及び課題発表を行います。Officeソフト（Word、PowerPointを使用）、又は同等のソフト（文書作成、プレゼンテーション用ソフト）の入ったノートパソコンを持参できる学生を条件とします。
②Word、PowerPointを使用するにあたり、基本的な文字入力（Word）、文字及び画像配置（PowerPoint）といった基礎知識を身につけておくこと。

受入人数：5名程度（定員を縮小しています）
申し込み多数の場合は、書類審査の他、愛知県内の大学・大学院に在籍する者、美術史、美術（実技を含む）に関する分野を専攻する者、愛知県内の出身者、最終学年の者を優先します。
1大学につき2名以内を原則とします。大学にて取りまとめをお願いします。

提出書類：所属する大学所定の依頼文書、履歴書、及び作文を大学より提出してください。
申し込みの際して、学生からの電話連絡は必要ありません。

- *履歴書（実習希望者の顔写真のついたもの）
- *作文（書式は問いません）
「古川美術館を選んだ理由」（800文字程度）
- *大学からの依頼書（古川美術館 館長 古川爲之 宛。所属校所定の様式）

書類提出先：〒464-0066
愛知県名古屋市千種区池下町2-50
古川美術館 学芸課 博物館実習担当者 宛

その他、ご質問などは下記までお問い合わせください。

〒464-0066
愛知県名古屋市千種区池下町2-50
古川美術館 博物館実習担当：学芸課（おやいづ小柳津）
TEL（052）763-1991
FAX（052）763-1994